

別紙 「平成31年度 学力向上アクションプラン」

足立区立江北小学校 学校長土性 知法

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標（＝数値） <いつまで・何を・どの程度>
1	改善	朝学習（パワーアップタイム）	全学年 国語 算数	毎週火（国語） 毎週木（算数） 毎週金（図書） 始業前15分	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】学習内容の復習・確認 【使用教材】漢字、計算のプリント学習（てんまるを基本とする） ・火曜日をモジュール学習とし、漢字・言語事項の学習に充てる。金曜日は読書活動 ・〇つけは各自または担任が行う。 ・プリントはファイルし、ポートフォリオとする。 ・読んだ本は記録し、ファイルする	单元ごとにミニテストを実施する。	ミニテストで学級の8割の児童が80%以上の結果を出す。
2	改善	放課後補習教室	全学年 国語・算数 正答率70%未満 単元テスト70%未満（1年は後期より実施）	月曜3年 火曜4年 木曜5年 金曜2年	【指導者体制】担任、学習支援員、校長、副校長 【取り組みのねらい・目的】つまずきがどこにあるかを確認し、復習を中心に個別、または少人数で指導する。進度・取り組み内容は個人で異なる。 【使用教材】ワークシートを基本セットとし、ベーシックドリル、学力テストの問題等も活用	定着確認テスト（2月）	1月に実施する定着確認テストで正答率－5%以内。
3	継続	夏季学習教室	3～5年 国語・算数 正答率70%以下の児童を中心に各クラス5～6名	7月21日～8月3日まで10日間	【指導者体制】全教員（各学年3人体制で指導する） 【取り組みのねらい・目的】児童のつまずきに応じて演習を中心に行う。少人数での指導を行う。 【使用教材】ワークシート、夏季休業用ワークブック	最終回に確認テストを実施	最終回のテストで正答率10%アップ
4	継続	クラブ・委員会の時間を活用した放課後学習	2・3年 国語・算数 対象4～6名	クラブ・委員会のある水曜日（年間20回程）	【指導者体制】非常勤教員、校長、副校長 【取り組みのねらい・目的】	最終回に確認テストを実施	かけ算九九、くり上がり・くり下がり計算が確実にできるように

				度)	2・3年生のうち、特に学力定着に課題のある児童に対し、基礎的・基本的事項（かけ算九九、くり上がり・くり下がり、漢字、音読、文章理解等）の習熟を図り、そだち指導につなげていく。		する。簡単な文章を正しく読めるようにする
5	継続	教師の授業力向上	<p>【若手研】 ・若手教員による研修・授業参観の実施。</p> <p>【小中連携】 ・6分科会による研究授業（各教科）</p> <p>【校内研究】 ・国語</p>	<p>毎月木曜日（年間10回） （研究授業は各月 計8回）</p> <p>計4回実施</p> <p>7月, 11月, 1月</p>	<p>・年度当初に年間計画を立案し完全実施する。 ・毎週の研修会は、授業に関すること、生活指導に関すること、勤務・服務に関すること等。</p> <p>・中学の指導案作成にも担当する教科の教員を必ず関わらせる。分科会ごとに協議会をもつ。可能な範囲で講師を招き指導を受ける。</p> <p>・外部から講師を招き、指導を受ける。</p>	定着確認テスト（1月）	<p>・同学年異学級の通過率の差を国語・算数ともに10ポイント未満とする。</p> <p>・1月に実施する定着確認テストで通過率を4月ー5%以内とする。</p>
6	新規	MIMの充実	1年 国語	毎月	・職員会議等で取り組み状況を周知し、現状を共有・確認する。	3月アセスメント	・3月時までに3rdステージ児童を半減させる。